

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム翔里

目標達成計画

作成日: 令和 3年 3月 29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ホームの理念に沿った年間目標を独自に設定しているが、職員の目標達成度を確認できていない	職員個々の目標達成度ができ、ホームの理念の浸透に結びつくことができる	①職員個々が理念に沿った年間目標を掲げ、日々の支援に取り組む ②6か月1回個々の目標について振り返りの時間を設ける	12ヶ月
2	6	身体拘束の3要件や、スリーロックについて、身体拘束禁止の具体的行為11項目について十分理解できていない	身体拘束の3要件や、スリーロックについて、身体拘束禁止の具体的行為11項目についての理解を実践の中で深めることができる	①身体拘束3要件を職員が目につくところに貼っておき、意識できようにする⇒各ユニット申し送りをする場所に貼っている(3月10日) ②身体拘束適正化委員会が3か月ごとに開催されるが、その中で全職員が振り返ることができるようにしていく ③年2回の施設内勉強会の中で、身体拘束に該当する行為の理解や振り返りの機会となるようにする	12ヶ月
3	10	コロナ禍の影響で、直接の面会ができない	家族とのコミュニケーションツールの導入で、利用者様の様子がわかり、安心できる	ICTの活用の検討	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。